

ごうぎんの強み

～これまで培ってきた強みを生かし、未来へと引き継いでいきます～

財務資本 地銀トップクラスの自己資本比率

安定した財務基盤と、全国の地方銀行の中でも常に高い水準に位置する厚い自己資本を活用することで積極的にリスクテイクし、高品質なサービスの提供と地域の発展に努めています。

連結自己資本比率

12.48% **2位**

(2021年3月期、地銀国内基準行中)

社会資本 山陰での高い取引シェアと広域店舗ネットワーク

山陰におけるリーディングバンクとしての役割を自覚し、地域・お客様のニーズに的確・迅速にお応えしてきました。こうした長年の取り組みをご評価いただき、山陰両県においては圧倒的な預貸金シェアを有しています。また、広域店舗ネットワークを生かし、山陰と県外でのリレーションを深めることで、両地域の経済活性化、持続的な成長に貢献しています。

山陰両県における当行の預金シェア

48.7% (2020年9月期)

※ 山陰両県に店舗を有する銀行、信用金庫、信用組合、ゆうちょ銀行(当行調査による)

山陰両県における当行の貸出金シェア

51.4% (2020年9月期)

※ 山陰両県に店舗を有する銀行、信用金庫、信用組合(当行調査による)

知的資本 質の高いリレーションシップバンキングのノウハウ

リレーションシップバンキングを普遍的なビジネスモデルと位置付け、お客様との信頼関係を構築し、課題やニーズを的確に把握することで、解決策をご提供しています。これにより、地域・お客様の付加価値向上と当行の成長の両立を目指しています。

人的資本 地域への思いあふれる勤勉な人材

当行の従業員は、「地域・お客様のお役に立つ」ことを喜びとして、地域の活性化につながる活動を実践してきました。さらに従業員一人ひとりが能力を最大限発揮できる組織づくりと、質の高いサービスが提供できる自律型の人材を育成することで、高度化・多様化する地域・お客様のニーズにお応えしてまいります。

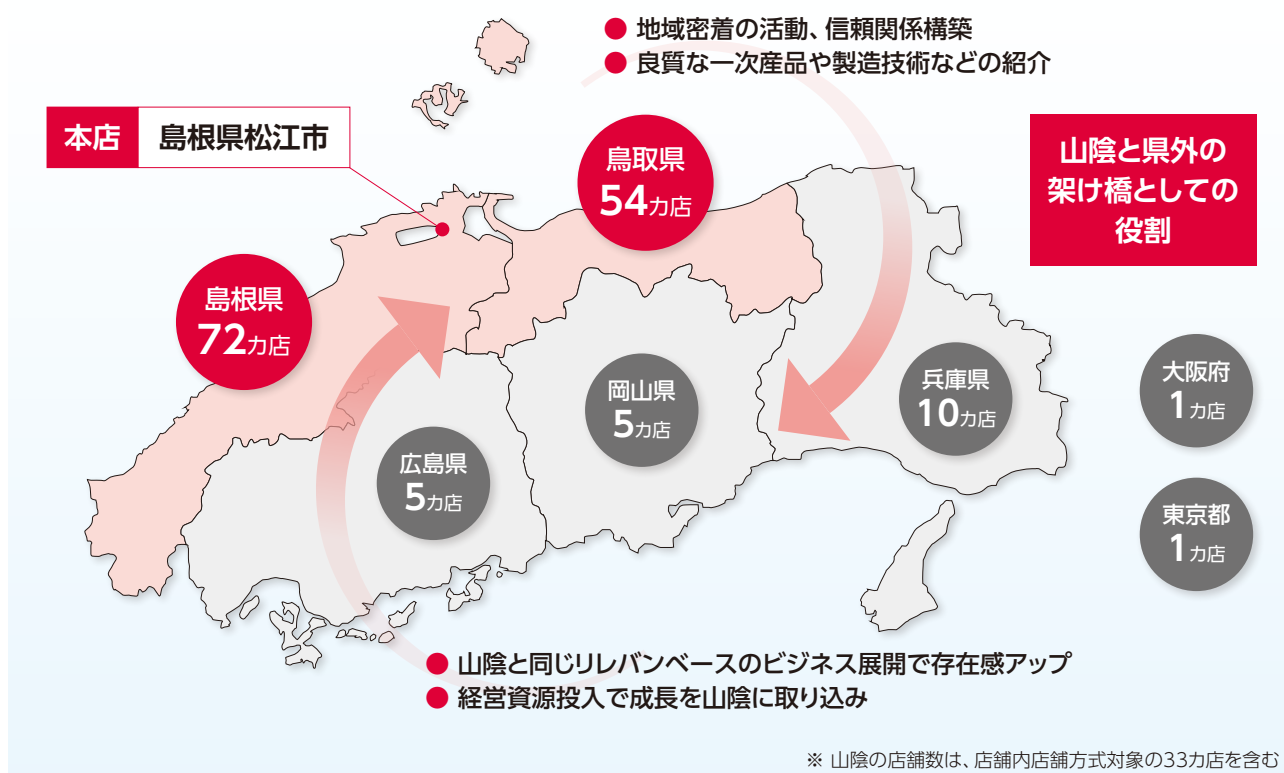
自然資本 豊かな自然環境・地域資源

当行が主要な営業エリアとする山陰地方は、北を日本海、南を中国山地に囲まれ、美しい自然環境や独特な歴史・文化などが身近に存在する地域です。当行はこうした地域に愛着を持ち、地域と深くつながりながら、あらゆる場面で地域の持続可能性のために活動を続けています。



営業基盤

山陰、山陽、兵庫・大阪にまたがる広域店舗ネットワーク



広域店舗ネットワークを生かしたマーケット

山陰は両県の県内総生産をあわせても全国の1%にも満たない経済基盤ですが、山陰と山陽、兵庫の県内総生産をあわせると全国2位の規模となり、実態としては大きなマーケットを有しているといえます。

地域別の貸出金残高をみると、2020年度末には県外をあわせた残高のほうが山陰を上回っています。

国内総生産に占めるシェア

順位	都道府県	実額(億円)	シェア
1位	東京都	1,062,382	18.92%
2位	愛知県	402,997	7.18%
3位	大阪府	400,699	7.14%
6位	兵庫県	213,288	3.80%
12位	広島県	117,908	2.10%
21位	岡山県	78,131	1.39%
45位	島根県	24,729	0.44%
47位	鳥取県	18,966	0.34%
(35位)	山陰両県	43,695	0.78%
(2位)	山陰両県、山陽、兵庫計	453,024	8.07%
—	全県計	5,615,233	100.00%

※ 内閣府「県民経済計算(2017年度)」、順位の()は各県合計した場合の全国の順位

地域別貸出金残高の推移

